

神戸市の文化芸術の未来を考えるフォーラム

次第

(2026年6月6日 12:30-14:00 神戸市立博物館講堂)

1. テーマ

神戸市室内管弦楽団への補助金のあり方について

2. プログラム

(1) 開会あいさつ

神戸市文化スポーツ局 三重野雅文 局長

(2) 神戸市室内管弦楽団の概要紹介

(3) 神戸市室内管弦楽団 補助金見直しの経緯

神戸市文化スポーツ局 出石直史 副局長

(4) 神戸市室内管弦楽団の状況

(公財) 神戸市民文化振興財団 藤原宏行 常務理事

(5) 参加者との議論

ファシリテーター 神戸親和大学 松田恵示 学長

神戸市室内管弦楽団の概要

1. 神戸市室内管弦楽団とは

神戸市を拠点とする室内管弦楽団（少人数編成のオーケストラ）。神戸市内外からのプロ奏者で構成される。運営は神戸市民文化振興財団。レパートリーは、モーツァルトやハイドンなどの古典派音楽が中心であり質の高いアンサンブルを追及している。定期演奏会の他にも、地域へのクラシック音楽普及や、音楽を通じた地域課題の解決に取り組む。

項目	内容
音楽監督	鈴木秀美氏（2021～）
団員数	弦楽器と管・打楽器 計 26 名（2025 年 12 月時点） <内訳> ヴァイオリン 11 名、ヴィオラ 2 名、チェロ 2 名、コントラバス 1 名、フルート 2 名、オーボエ 1 名、クラリネット 1 名、ファゴット 1 名、ホルン 1 名、トランペット 2 名、ティンパニ & 打楽器 2 名
設置/運営	(公財)神戸市民文化振興財団
市補助金※ (予算額)	2025 年度：約 87,000 千円 2026 年度：約 85,000 千円

※補助金には事務局経費を含む

2. 2025 年度 活動実績

- 自主公演 年 7 回（加えて混声との合同 2 回）
 - ① 定期演奏会（第 167 回～171 回） 5 回 2,828 人
 - ② セレクションシリーズ（Vol.7～8） 2 回 622 人
 - ③ （混声との合同）定期演奏会 1 回 582 人
 - ④ （混声との合同）こどもコンサート 1 回 506 人
- 依頼公演 年 23 回（*学校等への訪問や招聘（いわゆるインリーチ・アウトリーチ）除く）

3. 楽団の歴史

年度	事柄
1981	・ 「神戸市室内合奏団」として設立
2018	・ 管楽器団員の加入、「神戸市室内管弦楽団」と改名
2021	・ 世界的なチェリストであり指揮者の鈴木秀美氏が音楽監督に就任
2021～	・ 音楽監督招聘や専門スタッフ配置による集客改善 ・ 団員報酬の削減、補助金の段階的減額
2025	・ 神戸市より補助金見直し方針の提示